

## タウンミーティング（吉岡地区）開催報告

- 日 時 令和元年 10 月 31 日（木）19 時から 20 時 30 分まで
- 場 所 吉岡公民館 2 階大ホール
- 参加者 吉岡地区連合自治会長、新町自治会長、上市自治会長、石延自治会長、安用自治会長、安出自治会長、大影自治会長、民生委員会会長、老人クラブ会長、婦人会会長、小学校 PTA 会長、消防分団長  
市長、経営戦略部長、危機管理監、東予総合支所長、危機管理課長、危機管理課くらし安全係長、地域防災アドバイザー、シティプロモーション推進課長、広聴係長、東予総合支所総務課長
- 傍聴 26 人
- 次 第
  - 1 開会
  - 2 挨拶（吉岡地区連合自治会長）
  - 3 挨拶（市長）
  - 4 市の主要事業について《市提案》
    - (1) 主要事業の説明（市長）
  - 5 地域課題「防犯灯 LED 化推進のための補助」について《地域提案》
    - (1) 地域からの提案説明
    - (2) 意見交換
  - 6 参加者自己紹介
  - 7 地域課題「地域防災対策」について《市提案》
    - (1) 課題等の経緯等内容説明（地域防災アドバイザー）
    - (2) 意見交換
  - 8 まとめ・閉会
    - (1) まとめ（市長）
    - (2) 挨拶（吉岡地区連合自治会長）

### ○会議録

#### 1 挨拶

##### 【連合自治会長】

こんばんは。このタウンミーティングは、西条市連合自治会と市が主催となり、地域が主導して開催するもので、市長に地元においていただき、市の現状や今後の市政方針の説明に加え、地域住民と市と一緒に地域の課題について話し合うことで、私たちの声を生かした愛着の持てる地域づくりを行うことを目的としている。

事前に各代表から課題を提出していただき、その中から今日は、「防犯灯 LED 化推進のための補助」についてと「地域防災対策」について話し合う。

今回は、地域課題を市長も交えて地域の皆で話し合い、各団体それぞれの意見を共有することを目標に、次回につながる会議を皆さんの協力をいただきながら進めて参りたいと考えているので、よろしくお願い申し上げます。

##### 【市長】

皆様こんばんは。遅い時間帯にもかかわらずお集まりいただき感謝申し上げます。

このタウンミーティングは、6 月 22 日からスタートして、約 5 カ月間かけて 28 地区を回っており、予算に反映すべきことが出てくれば、反映させようという思いがある。

地域の抱える課題は各地域で随分違うため、その地域が抱える課題について聞かせていただきながら、その対応を考えていきたいと思うので、どうかお付き合いの程、よろしくお願い申し上げます。

#### 2 市の主要事業について《市提案》

##### (1) 主要事業の説明

##### 【市長】（参照別紙資料（1））

#### 3 地域課題「防犯灯 LED 化推進のための補助」について《地域提案》

##### (1) 地域からの提案説明

##### 【参加者】

今年の6月の西条市連合自治会東予支部総会で、危機管理課から「防犯灯のLED化を推進するため、令和元年から4年までの間、臨時予算を計上するが、補助率は従来のおり3割補助とし、令和5年度からは、設置や取替工事の補助金を廃止する」という説明があった。その時にも各会長から、色々問題があるのではといった発言があった。

新町自治会でも器具が壊れたところから、LED化に取り組んでいるが、自治会の台所事情もあり、実はあまり進んでいない。平成29年度に、自治会が管理している新福寺の墓地の本堂を、老朽化のため急遽取り壊し、地元の人たちの寄付もいただきながら新しく建て替えたことで、これまで自治会の限られた予算の中で節約し、特別会計で積み立てていたが、ほとんど無くなってしまった。そのためなかなかLED化を進められなかった。

地域全体の防犯灯をチェックをしたところ、44灯の内、LED化出来ているのは3灯くらいしかない状況である。

4年計画でも、1年に10灯くらいのペースで進めなくてはならず、地域の人たちの会費でもって運営をしている自治会としては、かなり負担が大きい。確かにLED化を進めれば、電気代も安くなるが、市が期限を区切ってやるのであれば、もっと補助率を高められないかということと、もう一つはこの制度は令和5年度から廃止するということだが、一度LED化しても必ず10年ないし15年間もつという保証はなく、例えば自然災害や人為的に壊されることもあるだろうし、また土地造成によって新しい住宅が開発されるなど、防犯灯を新しく設置しなければならないこともある。本当に西条市の求めている安全安心なまちづくりをするためには、この制度を廃止するのではなくて、存続をしていただきたい。

## (2) 意見交換

### 【くらし安全係長】(参照別紙資料(2))

貴重なご意見感謝する。「自治会防犯灯のLED化推進による特徴及び補助金」について、まず「1、LED防犯灯の特徴」として、蛍光灯からLEDに取り替えた場合の電気料金が年間2,100円安くなる。さらに、市が考えている令和5年度から1灯あたり一律500円の補助金になることで、自治会の負担はさらに減ることとなる。

蛍光灯とLEDを比較すると、LEDは長寿命で、約3年位で交換が必要な蛍光灯に比べメンテナンスの軽減や、費用が少なくなり、自治会の負担が減ると考えている。

「2、蛍光灯とLEDの経済比較」として、蛍光灯からLEDに取り替えた場合に、自治会の負担がどれだけ減るかというグラフからもわかるように、15年後には10灯所有の場合は約30万円の軽減、20灯所有の場合では約60万円の軽減というかたちで、蛍光灯からLEDに取り替えさえすれば、1灯あたり3万円の負担が軽減できる。

市としては、令和4年度中に市内全体の自治会防犯灯のLED化率80パーセント超を目標にLED化を推進していくこととしている。

各自治体から東予総合支所に提出していただいた電気代補助金申請の数値から、吉岡地区防犯灯の現状と経済比較すると、1灯あたり2万円の工事費で仮に30灯取り替えたと考えた場合、初期投資として60万円かかることになるが、市の補助が3割の18万円あることから、自治会の支出は実際42万円となる。

これはかなり大きな支出だが、6年目にはLEDと蛍光灯の自治会負担額が逆転することとなり、15年後にはLEDに取り替えさえすれば、約90万円の負担軽減となり、LED取り替え工事をするのが早ければ早いほど、自治会にとっては得だということになる。

補助金制度の変更について、市としては、今年度～令和4年度までの4年間、LED化を促進するための臨時予算の計上を行い、令和5年度からは、設置、取替費の補助金については廃止し、維持費(電気料金)については1灯あたり500円の補助に変更させていただいて、自治会の防犯灯のLED化の推進を図りたいと考えている。

自治会の初期投資等の負担が増えることとなり、大変申し訳ないが、制度の変更にご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

### 【市長】

机上で計算すると説明したとおりになるが、灯数をたくさん持っていれば持っているだけ初期投資が大きくなるので、インシャルコスト(設備の導入費)が少し引っかかるという心理はわかる。しかしLED化は長い目で見て負担の軽減に繋がるので、インセンティブ(導入へのモチベーション)を高めるにはどうしたらよいか、対応の有効期間を設定してやっていけないか考えたところである。そうは言いながら、旧行政区単位でやり方が違っていたり、防犯はもともと市がやるものではないのかと言う声をいただくこともあり、悩ましいところだが、インセンティブが高まるようにしていきたい。1灯あたり500円というのは、今まではいくらだったか。

## 【くらし安全係長】

今までは3割で、390円くらいである。

## 【市長】

ご意見はあろうかと思うが、一方で、灯数は新町ほど多くは無かったところの2つの自治会では全てがLED化になっており、メリットは感じていただいていると思う。

## 【参加者】

例えば10年後には一斉に変えないといけないような時が多分あると思うが、その時には新設や取替工事の補助制度はないのか。現時点では補助制度は止めるが、将来的にそのような補助の可能性もあるのか。

## 【市長】

お約束はできないが、例えば大規模な災害が発生したときは、特別だと思う。壊滅的な状態になっているのに、同制度がないからできないとかではなくて、そこは復旧復興ということになってくるので、その時にご相談していくということになる。

## 4 地域課題「地域防災対策」について《市提案》

(1) 課題等の経緯等内容説明

【地域防災アドバイザー】(参照別紙資料(3))

(2) 意見交換

## 【参加者】

大明神川が氾濫した場合のハザードマップはあるのか。

川が上市側から氾濫してきた時に、どういう計画、傾向になっているのか。

## 【危機管理課 地域防災アドバイザー】

大明神川の氾濫についての浸水想定区域図はあり、市のホームページ上で公開されている。

これは、50年に一回程度起こる豪雨(時間雨量強度61mm/h)により、堤防が決壊した場合をもとに作成しているが、その中では、対岸側の庄内の方へ水は流れていくという形になっており、吉岡地区に水がかかるようにはなっていない。しかし作られたのが平成19年から20年で、その後河床も上がっていることから、皆様が心配されていることも多分にあると思う。現在愛媛県が県の管理河川について浸水想定を逐次進めており、今後新しいものも出るので、それに合わせて新しくしていく。

## 【参加者】

広岡地区は土砂災害の砂防指定地域にもなっており、非常に土砂災害が多い所である。砂防ダムがいっぱい築かれているが、もう満杯で、ちょっとした雨でもすぐに土砂が流れ出して、小さな水路に溜まって、これのかき出しに弱っている。

また、ため池が三つあるが、一つは山の方で土砂で埋まってしまって使い物にならない。下のほうにある集落の横に蓮池と北谷池というため池があるが、蓮池でオーバーフローした水が北谷池へ流れ、北谷のよけ地から流れ出すというような構造になっている。そして北谷池の取水路が、延べ1km余り山の中を通っているが、これが蓮池からの吐出路に合流して、台風時には土砂がその合流地点で詰まってしまって、蓮池へ逆流するようなことが度々ある。

異常気象時には、改良区と自治会が夜中と言わず出てパトロールと土砂のかき出し作業を延々とやっているのが実情である。まずお願いしたいのは、蓮池の吐き出しの水路を、単独で下の方の大きな河川に繋げていただくか、北谷の取水路を単独で北谷池へ入れて蓮池からの吐出水路とは別に設けていただきたい。

## 【市長】

「吉岡地区における課題及び要望」(別紙資料(4))に対する回答という部分に入ってはいるが、不足するところは問合せをお願いしたい。

私も素人ながら、砂防のダムは、非常に効果を発揮していると思う。ただ、土砂が流入していくという話になるが、じゃあその土砂を除くか、と言うとかき出さずに上へすくっていくことが、良くあるパターンだと聞いている。

私も大明神川の土手を通るので非常に心配になる。これは市民の皆様の心配事として、国安も三芳側も本当に声を大にして言われている。実は先般の知事との意見交換会でも、大明神川に関する皆の不安の声を伝え、これだけ言っていて出来なかつたら県も市も、責任を問われるような発言も間違いなく出てくるという話をした。確認をすると、土砂を取る費用よりも捨てる費用の方が高くて、予算を例えば10だとすれば2が取る費用で8が運ぶ費用である。捨てる場所がないといけないが、その場所を西条市で作り、そこへ持って行ってくれるという話になれば、土砂を取れる範囲が必然的に広がっていくので、知

事にも西条市としての覚悟というところで、そのことを言わせていただいた。ご心配があらうかと思うが、とりわけ大明神川の河床は、異常だと思っているので、最終的にはここはしっかり対応していきたい。

ため池については、上市のところから流れていけば下へ攻めていくという話になると思うので、堰堤と言うか堤も含めて今後しっかり確認をしていき、対応していかなくてはならないことであり、何度も下に溜まった土砂を除けるのも消防団の皆様にご迷惑をかけているのであれば、チェックをしておかなければならないと思う。専門的な話を原課と進めていただきたい。

**【参加者】**

大明神川は、庄内側が切れるという想定らしいが、色々な災害の場合は、想定外と言うこともあるので、もしかしたら国安側、吉岡側ということも考えられると思う。東日本大震災の時、津波が川を遡上してかなり被害があった、そういう危険性はあるのか等もわかれば教えていただきたい。

**【参加者】**

一昨年(2011年)の7月に大雨が降った時に消防団も大明神川警戒に入った。一番心配だったのが、庄内橋の下に水道管か何かの橋のようなものがあるが、そこへ流木などが詰まって、そこでフローして両方の対岸の土手へ水が当たっていた。今までの経験上、三芳の方へ切れることはあったと思うが、これからはそこでオーバーフローして、何年か前に小松で橋が流木で詰まって大災害が起きたのと同じ事が起きる可能性があると思うので、市からも県へ確認していただきたい。

**【市長】**

平成16年の災害のことだと思うが、自然ダムができてオーバーフローしてというのが、旧西条や黒谷川でもあり、死者を出したことが記録に残っている。水道管橋が悪戯をするのであれば、そこはチェックをして申し出ていかねばならない。現場を見られている方の声を大切にしたいと思っており、この河川の水道橋が道前土地改良区のところなので、承って持ち帰る。

**【参加者】**

今年の何号台風だったかの時に新町で、独居高齢者の方2人が公民館に避難するので私も車を出して避難させた。新聞で見たが、車がなくて多くの方が亡くなっておるということもあり、今後独居高齢者、高齢者世帯が非常に増えると思うが、そういった方達が避難をする手段にどういう形があるのか、自治会で出来るだけのことはやってはいるが、それにも限界がある。特に水がかなりある時にはなかなか自治会でその人達を公民館まで運ぶということは難しくなる。今後こういった形で対応したらよいか。

**【危機管理課長】**

市では、まず災害時に支援が必要な方について、名簿の作成をやっている。これは各自主防災会や自治会単位で、高齢者など1人1人がどのように避難していくかを地域の皆様で決めていただき、避難の手助けを地域ぐるみでやっていただくという目的で作っている。ぜひそういう取り組みを地域でやっていただきたい。また市では台風等大雨が降る予想は、何時間も何日も前から分かっているので、明るいうちの早めの事前避難というのを心掛けるために、マイタイムラインというのを作っていただき、それぞれ1人1人に合った避難の取り組みをしていただくように進めている。それぞれの地域でもぜひ取り組んでいただいて、私共もそれぞれの自治会に出向き、タイムラインの作成や、要支援者の名簿作成等を地域の方と一緒に取り組んでいきたい。ぜひお声が掛けいただけたらと思う。

**【市長】**

地区防災計画は吉岡地区というカテゴリではなく、例えば上市なら上市という風な小規模単位自治会で作るのか。

**【危機管理課長】**

地区防災計画は、地域が狭いと助け合うにしても力が足りなくなる場合もあるため、できれば校区単位で皆様で考えていただきたい。

タイムラインは各自治会単位でおこなっていきたいと考えている。

5 その他(地区における課題及び要望に対する回答)

**【シティプロモーション推進課長】**(参照別紙資料(4))

6 まとめ・閉会

(1) まとめ

**【市長】**

長時間にわたり参加をいただき、誠に感謝する。

28 地区回っていて、このような若手の皆様がおられるのは初めてで、吉岡は人口の減少率も低いとい

うことが推計値で出ているが、吉岡はやっぱり若いなと思った。

そうは言いながら高齢化率は約3人に1人となってきているので、吉岡を守っていくために私共は地域づくりに力を入れていこうと旗印を挙げている。

先程議論があった防災も含めて、地域が抱えている課題、例えば橋の方では買い物弱者を対象に、老若男女が参加をしている地域自治組織で、買い物ツアーをしたりしている。

地域の課題を解決する力、地域力が非常に大切になってきていると考えており、組織のカテゴリを超えて横の連携というのがこれからの地域づくりには必要になってくると考える。

防災も地域づくりも含めて、我々生懸命汗を流して参るので、遠慮なしに声掛けをしていただきたい。公民館からでも構わないので、ぜひとも市に声を寄せていただければありがたい。

今日は1つのきっかけとして、これからもよろしく願いをする。

## (2) 挨拶

### 【連合自治会長】

本日は、お忙しい中、市長や地域の皆さんにご出席いただき、お互いを知ることができた。更に、吉岡地区全体で災害に備えるため、話し合いを続けていきたい。

皆さんも各団体に帰られて、話し合いをしていただき、今後も市と協力しながら、住民同士が支え合う、災害に強い地域づくりを目指し、地域自体を盛り上げていけたらと思うので、それぞれの団体で、それぞれの立場で引き続き、話し合いを続けていきたい。

また、行政の皆さまには活動に際し、今後ともいろいろと相談やご支援をお願いする。

(閉会)

### <タウンミーティングの様子>

